



広島県
福山地区消防組合消防局
消防局長 杉原 均



気品ある香り漂う「ばらのまち福山」

福山地区消防組合は、広島県の東南端にあり、瀬戸内海沿岸のほぼ中央部に位置し、岡山県と境界を接し、南は燧灘をへだて愛媛県に対しています。

管内は、東西約35km、南北約61kmにわたり、面積は、1,095.59km²と広大です。北部には、800mを超える山々



福山駅から展望できる福山城

が連なり、南部には、瀬戸内水系の芦田川が瀬戸内海に注ぎ、河口には福山平野を發展させ、「ばらのまち福山」の市街地中心部を形成しています。

つづいて、沼隈半島の先端にある鞆の浦は、瀬戸内海国立公園を代表する景勝地で、さらに南方海上には瀬戸内の島々が散在しています。

また、北部の帝釈川一帯は、国定公園帝釈峡として四季折々の彩を見ることができます。

消防組合の体制

当消防組合は、現在2市1町(福山市・府中市・神石郡神石高原町)で構成される一部事務組合で、1本部(2部5課)8消防署、1分署、6出張所で組織し、管内人口約52万人の生命、身体、財産を、職員558人で「地域住民の安心と安全の確保」を行政目標に掲げ、消防業務に取り組んでいます。

消防組合の取組状況

それでは、当消防組合が現在行っている、住民への安心・安全を提供するための施策をいくつか紹介します。

まず、平成19年(2007年)4月には、中国地方で初となる高度救助隊(スーパーレスキュー福山)を発足させました。高度救助隊は、人命救助に関する専門的かつ高度な知識及び技能を有する隊員で構成し、高度救助資機材を最大限に活用し、より高いレベルで住民の安心・安全の確保に努めています。

救急業務においては、平成16年(2004年)4月から、速

やかに傷病者の保護又は応急処置に対応するため、ポンプ車が出動して救急隊を支援する救急支援活動



高度救助隊(スーパーレスキュー福山)発隊式

高度救助隊(スーパーレスキュー福山)発隊式(PA連携)の運用を開始しました。また、平成17年(2005年)からポンプ車にもAED(自動体外式除細動器)を積載し、管轄署所の救急隊が出場中でも有効的なPA運用ができるよう取り組んでいます。

さらに、年々増加し複雑化する救急需要に対応するため、救急救命士の養成及び救急救命士の気管挿管及び薬剤投与資格者の育成に取り組み、救急体制の強化を図っています。



消防艇「ふくやま」と高度救助隊の合同訓練

そして、今年度、消防通信指令管制システムの構築を図っており、来年度からの運用を予定しています。これにより、

119番通報受付処理能力がより強化され、大規模広域災害にも対応が可能となります。

さらに、携帯電話等からの119番通報に係る位置特定システムを備えることにより、広範囲な管轄エリアでも的確な災害点の特定ができます。また、災害点までのルート表示機能の活用により、地理不案内な場所でも迅速な現場到着が可能となり、より充実した住民サービスの提供ができるようになります。

おわりに

住民と消防との「信頼」という絆は、「安心」によるものと考え、子どもから高齢者までのだれもが、心から安心して安全で快適に暮らせることのできる地域社会の実現に向けて職員一丸となって取り組んでいきたいと考えています。